

長期ステロイド・プロトピック使用後の全身症状から就労再開に至った成人アトピーの経過 (38 歳 成人)

症例 ID：001-30-NY2 | 記録日：2013 年 8 月 31 日

1. 診断・治療前経過

幼稚園頃に発症し、学童期は比較的落ち着いていました。高校 3 年頃から再燃し、就職後の多忙とストレスで悪化しました。

成人後はステロイドとプロトピックを使用し、2004 年頃に中止しました。その後、2007 年と 2010 年に大きな悪化を経験しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド外用薬とプロトピックを使用しました。
製品名	製品名は不明です。プロトピックの使用歴があります。
強度	不明です。
使用期間	成人期に数年間、断続的に使用しました。
中止時期	2004 年頃です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2012 年 2 月 18 日	治療開始	煎じ薬と薬浴を開始しました。
開始 1 週間	一時軽減	皮膚症状が一時的に軽減しました。
2 月 25 日以降	処方変更	煎じ薬変更後、急速に悪化しました。
3 月	ピーク	全身の落屑、浸出液、痛み、浮腫、倦怠感、不眠が強く出ました。
同年 9 月頃	回復傾向	体力が戻り、外出が増えました。
翌年 7 月	就労再開	パート勤務を開始しました。
記録時点	経過中	過去 10 年で最も良い皮膚状態となり、治療を継続していました。

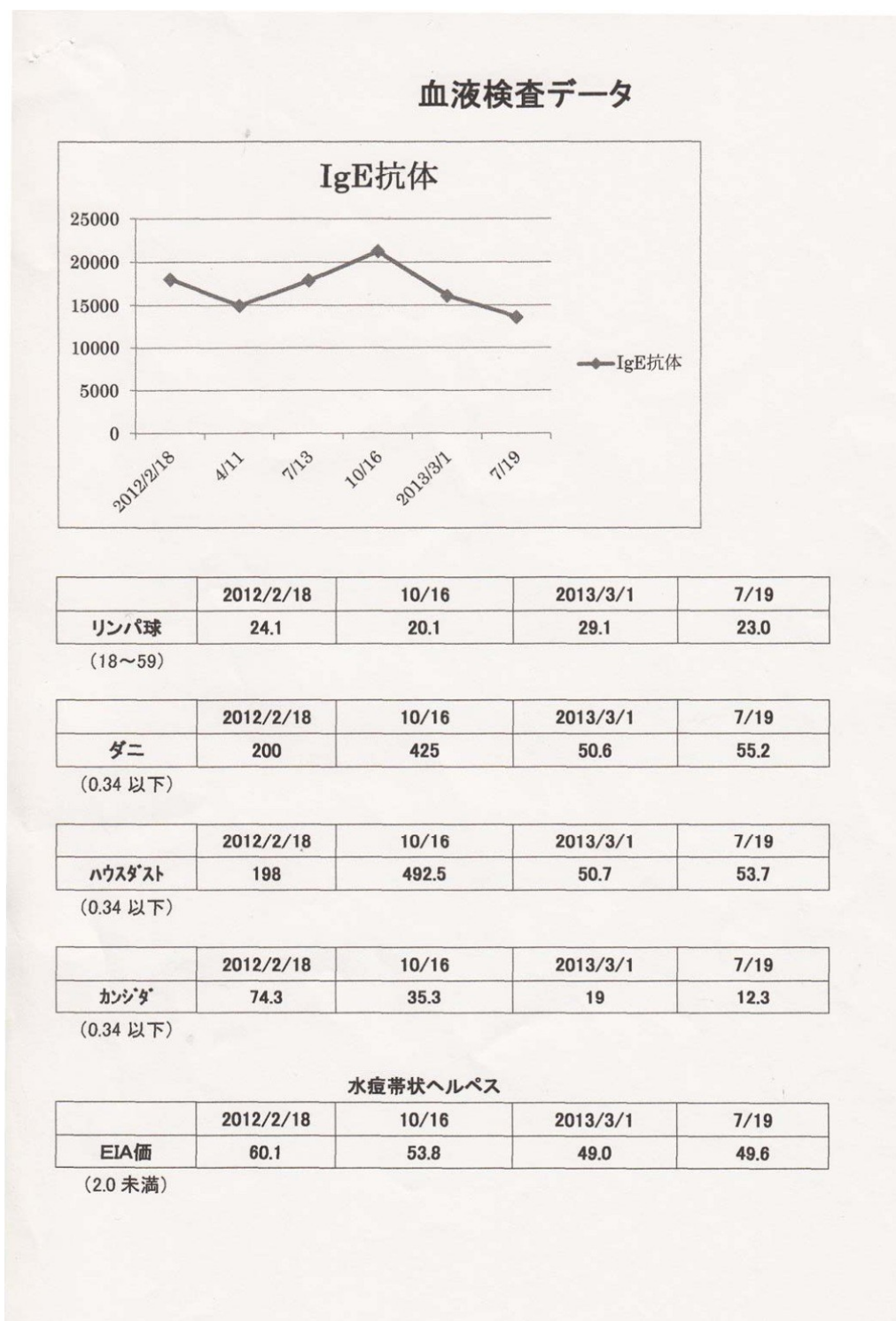
4. ピーク時期

ピークは、2012 年 3 月に全身の落屑、浸出液、痛み、浮腫、倦怠感、不眠が重なった時期です。

5. 困りごと

- 顔と体の強い症状で通院できず、家族が薬を受け取りに行く時期がありました。
- 入浴に長時間を要し、経済的・精神的・身体的負担がありました。
- 過去の悪化で仕事を休み、就労への自信を失っていました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



経過中の検査値の記録。

7. 経過のまとめ

同年9月頃から外出が増え、翌年7月にはパート勤務を開始しました。

記録時点では治療を続けていたものの、過去10年で最も良い皮膚状態となっていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。